総　務　編

１．花巻市消防本部管内の概況

平成 18 年１月１日に花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町の１市３町の合併に伴い、新「花巻市」が誕生しました。

当地は、岩手県内陸部のほぼ中央に位置し、面積 908.39k ㎡を有しており、県都盛岡市から南方約 30 ㎞、仙台市から北方約 150 ㎞、東京からは北方約 500 ㎞の位置にあります。

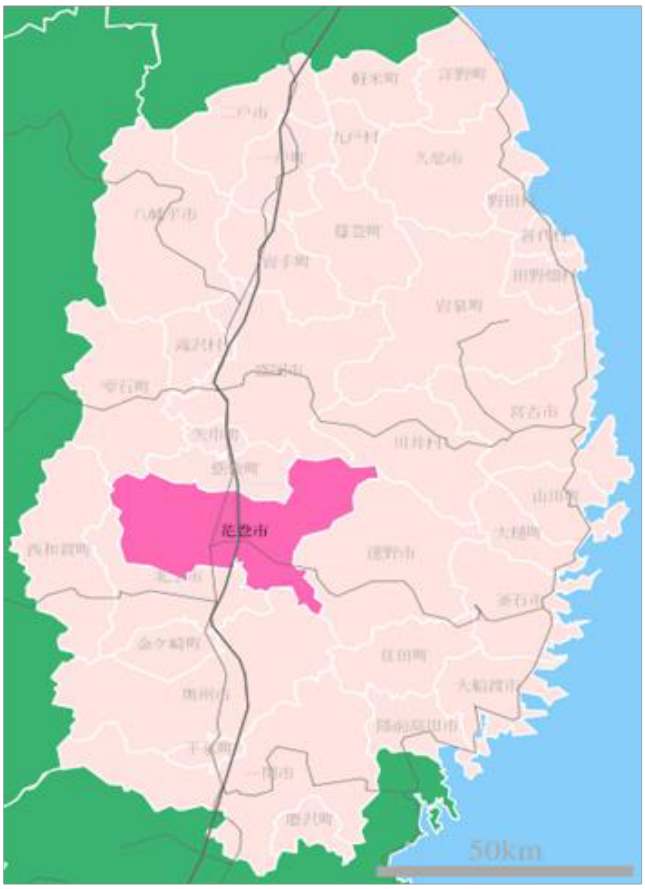
地形は、西に奥羽山脈、東に北上高地、その間を北から南に流れる北上川には西から豊沢川、瀬川、葛丸川、東から猿ヶ石川、稗貫川が合流し、北上川を中心として広がる流域の平野には穀倉地帯が形成されています。

気候は奥羽山脈、北上高地に囲まれているため内陸性の平穏な気候です。

市内の交通は、本県唯一の空港である「いわて花巻空港」が所在し、札幌空港まで約 55 分、名古屋（小牧）空港まで約 75 分、大阪（伊丹）空港まで約 90 分、福岡空港まで約 130 分と、北海道・中部・近畿・九州を結ぶ路線が整っています。道路は東北縦貫自動車道とこれと平行に走る国道４号、同 456 号、本県内陸部と太平洋沿岸部を結ぶ国道 283 号、同 396 号、そして東北横断自動車道が開通しました。鉄道は東京まで約 160 分の東北新幹線をはじめ東北本線や釜石線が整備されており、空路、高速道、鉄道の三拍子そろった高速交通の要衝になっています。

また、北上川を中心に肥沃な土壌の平野が広がり県内有数の穀倉地帯を形成し、園芸作物においても地域の特性を生かした野菜、果樹等の生産が盛んに行われています。

観光においても、花巻温泉郷、花巻南温泉峡、東和温泉など多くの温泉を有しており、県内はもとより、高速交通網を活用して県外から、さらには海外からも多くの観光客が訪れる保養地になっています。



さらに、雨ニモ負ケズ風ニモ負ケズの詩人宮沢賢治生誕の地、また詩人で彫刻家の高村光太郎が晩年を過ごした「花巻」。貴重な高山植物の生育地として知られる早池峰山と神楽とワインの里「大迫」。日本三大杜氏の一つである南部杜氏発祥の地「石鳥谷」。近代美術の先駆者萬鉄五郎の誕生の地であり、ウォータースポーツの盛んな田瀬湖を有する「東和」など、花巻市は豊かな自然、歴史、文化を持ち、これらを基盤として活発な交流を展開させ、積極的に地域の発展整備が続けられております。

２．花巻市消防本部発足とあゆみ

（１）常備消防機関の沿革

年　　月	記　　事
昭和 27 年　４月	花巻町消防団常備部が誕生
昭和 29 年　４月	花巻町、湯口村、湯本村、矢沢村、宮野目村、太田村の１町５ヶ村が合併し花巻市となり、消防本部及び消防署を設置
昭和 30 年　７月	笹間村を合併する
昭和 33 年　３月	消防庁舎を城内１－４３に新築
昭和 43 年 12 月	救急業務を開始
昭和 48 年　６月	花巻空港の警備を開始
昭和 49 年　３月	花巻市消防本部及び消防署廃止

（２）花巻地区消防事務組合の発足とあゆみ

○組合の組織　　花巻市、石鳥谷町、東和町、大迫町の１市３町をもって組織する

○組合の共同処理する事務　　関係市町の消防に関する事務、ただし消防団に関する事務及び消防水利に関する事務を除く

年　　月	記　　事
昭和 49 年　４月	１本部、１署、３分署の組織で発足
	石鳥谷町、東和町、大迫町に分署開設、消防、救急業務開始
	職員 13 名採用（条例定数 99 名、実員 66 名）
８月	職員 12 名採用（条例定数 99 名、実員 78 名）
昭和 50 年　３月	石鳥谷、東和、大迫の各分署庁舎落成
４月	職員６名採用（条例定数 99 名、実員 84 名）
５月	消防相互応援に関する協定（県内 14 消防本部）
昭和 51 年　４月	職員６名採用（条例定数 99 名、実員 90 名）
８月	消防庁舎（消防本部、署）建設事業着手
昭和 52 年　４月	職員 10 名採用（条例定数 99 名、実員 99 名）
11 月	花巻温泉分遣所庁舎落成、業務開始
	東北自動車道供用開始に伴う救急業務を開始
	東北自動車道相互応援協定（盛岡、北上、胆沢、両磐）
昭和 53 年　２月	職員定数条例改正 103 名となる
７月	消防本部、署新庁舎落成、業務開始
昭和 54 年　４月	職員５名採用（条例定数 103 名、実員 102 名）
昭和 56 年　４月	職員３名採用（条例定数 103 名、実員 103 名）
昭和 58 年　４月	職員２名採用（条例定数 103 名、実員 103 名）
昭和 59 年　９月	日本消防協会より救急自動車贈呈される（東和分署）
昭和 60 年 10 月	石鳥谷分署、車庫増築

昭和61年 4月	職員１名採用（条例定数103名、実員102名）
12月	東和分署庁舎移転落成
昭和62年 8月	日本消防協会より救急自動車贈呈される（花巻温泉分遣所に配置）
昭和63年 4月	職員３名採用（条例定数103名、実員103名）
平成 元年10月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ車贈呈される
12月	職員定数条例改正110名となる
平成 2年 4月	職員７名採用（条例定数110名、実員108名）
10月	花巻南温泉分遣所庁舎落成、業務開始
平成 3年 4月	職員２名採用（条例定数110名、実員110名）
平成 4年 2月	消防本部通信指令室改修
3月	消防緊急通信指令施設導入（Ⅱ型）運用開始
11月	職員定数条例改正120名となる
平成 5年 4月	職員８名採用（条例定数120名、実員114名）
5月	救急救命士資格取得者１名（第１号）
11月	花巻空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定
平成 6年 4月	職員４名採用（条例定数120名、実員115名）
10月	組合発足20周年記念式典実施
平成 7年 4月	職員５名採用（条例定数120名、実員120名）
	高規格救急自動車運用開始（消防署）
9月	石鳥谷分署及び大迫分署の救急車改造並びに高度救命資機材整備
10月	石鳥谷分署、東和分署及び大迫分署の気象観測機器更新整備
11月	職員定数条例改正143名となる
	岩手県緊急消防援助隊発足（救急部隊登録）
	防災講演会開催（社団法人日本損害保険協会共催）
平成 8年 2月	消防署に小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型）を更新配置。
3月	東和分署に高規格救急自動車を配置
4月	職員10名採用（条例定数143名、実員127名）
6月	花巻空港福岡線開設
10月	岩手県防災ヘリコプター応援協定
平成 9年 2月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を配置
4月	職員７名採用（条例定数143名、実員133名）
10月	石鳥谷分署に指令車を更新配置
11月	消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－Ａ型を更新配置
平成10年 3月	大迫分署に高規格救急自動車を配置
4月	職員７名採用（条例定数143名、実員138名）
7月	消防本部に査察車を更新配置
12月	消防署に災害対応特殊高規格救急自動車配置
平成11年 1月	石鳥谷分署に高規格救急自動車を配置
4月	職員２名採用（条例定数143名、実員139名）
12月	消防署に救助工作車を更新配置（社団法人日本損害保険協会寄贈）

平成 12 年　４月	職員４名採用（条例定数 143 名、実員 142 名）
12 月	石鳥谷分署に水槽付消防ポンプ自動車Ａ－Ⅱ型を更新配置
平成 13 年　３月	防災講演会開催（花巻市等の共催）
４月	職員３名採用（条例定数 143 名、実員 143 名）
平成 14 年　４月	条例定数 143 名、実員 142 名
平成 15 年　４月	職員５名採用（条例定数 143 名、実員 143 名）
平成 16 年　３月	消防本部に高機能消防指令センター開所
	花巻南温泉分遣所に高規格救急自動車を配置
	消防事務組合発足 30 周年記念式典を実施
	消防署に高規格救急自動車を更新配置
	花巻空港化学消防自動車操作委託業務契約終了
４月	職員３名採用（条例定数 143 名、実員 143 名）
	緊急消防援助隊登録（消火部隊）
平成 17 年　４月	条例定数 143 名、実員 142 名
10 月	東和分署に高規格救急自動車を更新配置
12 月	花巻温泉分遣所に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を更新配置
	大迫分署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ－Ａ型を更新配置
	花巻地区消防事務組合解散式を挙行

（３）花巻市消防本部の発足

年　　月	記　　事
平成 18 年　１月	花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町が合併し、新「花巻市」が誕生
	花巻市消防本部発足（条例定数 143 名、実員 142 名）
４月	職員１名採用（条例定数 143 名、実員 143 名）
平成 19 年　４月	職員４名採用（条例定数 148 名、実員 143 名）
	緊急消防援助隊登録(消火部隊、化学車隊)
平成 20 年　３月	消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅲ型を更新配置
４月	職員５名採用（条例定数 148 名、実員 146 名）
４月	緊急消防援助隊登録（災害支援隊）
６月	岩手宮城内陸地震発生に伴い、相互応援協定により被災地に救急隊出動
10 月	花巻南温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配置
平成 21 年　２月	災害後方支援車を新規配置
３月	花巻温泉分遣所　新庁舎落成
４月	職員６名採用（条例定数 148 名、実員 145 名）
12 月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配置
平成 22 年　４月	職員 10 名採用（条例定数 148 名、実員 145 名）
５月	大迫分署に高規格救急自動車を更新配置
12 月	花巻中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ－Ａ型を更新配置
	水槽付消防用自動２輪車を新規配置
平成 23 年　３月	東日本大震災に伴い釜石・大槌地区に救急隊応援派遣
	石鳥谷分署移転新築整備
	消防署第２車庫新築整備
	消防署救急専用室整備
４月	組織改編により花巻中央消防署、花巻北消防署の２署体制とする。
	職員４名採用（条例定数 148 名、実員 145 名）
12 月	花巻北消防署に高規格救急自動車を更新配置
平成 24 年　２月	花巻中央消防署に救助工作車を更新配備
３月	大迫分署移転新築整備
４月	職員３名採用（条例定数 148 名、実員 146 名）
12 月	花巻中央消防署に高規格救急自動車を更新配備
平成 25 年　３月	災害後方支援資機材搬送車を総務省消防庁より無償貸与
４月	緊急消防援助隊登録（災害支援隊）
	職員４名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
平成 26 年　４月	職員 11 名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
平成 27 年　４月	職員５名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
11 月	消防救急デジタル無線運用開始
平成 28 年　４月	職員８名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
平成 29 年　３月	花巻北消防署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型を新規配置
平成 29 年　３月	花巻中央消防署に消防指揮自動車を更新配置

４月	職員８名採用（条例定数 148 名、実員 147 名）
平成 30 年 ２月	花巻北消防署に災害特殊水槽付ポンプ自動車Ⅱ型を更新配備
４月	職員４名採用（条例定数 148 名、実員 147 名）
９月	北海道胆振東部地震に伴う緊急消防援助隊統合機動部隊及び後方支援隊の派遣
平成 31 年 １月	花巻北消防署に消防指揮自動車を更新配置
４月	職員７名採用（条例定数 148 名、実員 146 名）
令和 ２年 ２月	花巻中央消防署に災害特殊水槽付ポンプ自動車Ⅱ型を更新配備
４月	定数条例改正（148 名から 151 名）
	職員５名採用（条例定数 151 名、実員 146 名）
令和 ３年 ３月	花巻中央消防署にはしご車を更新配備
４月	職員６名採用（条例定数 151 名、実員 146 名）
12 月	花巻中央消防署及び花巻北消防署に高規格救急自動車を更新配備
	東和分署に救急室兼車庫を建築
令和 ４年 ４月	職員５名採用（条例定数 151 名、実員 150 名）
	花巻市消防山岳救助隊発足（21 名任命）
12 月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配備
令和 ５年 ４月	職員４名採用（条例定数 151 名、実員 149 名、うち救急救命士有資格者 49 名）
12 月	大迫分署に高規格救急自動車を更新配備
令和 ６年 １月	花巻中央消防署に搬送２号車配備
３月	東和分署に消防広報車を更新配備
４月	定数条例改正（151 名から 161 名）
	職員４名採用（条例定数 161 名、実員 145 名）
令和 ７年 ４月	職員５名採用（条例定数 161 名、実員 144 名）

（4）歴代消防長・消防署長

消防長

氏　　名	在　職　期　間
菊　池　　武	昭和49年4月1日　～　昭和54年3月31日
池　田　倉　蔵	昭和54年4月1日　～　昭和57年3月31日
柳　田　　満	昭和57年4月1日　～　昭和61年3月31日
佐　藤　金　一	昭和61年4月1日　～　平成 元年3月31日
本　舘　源　吾	平成 元年4月1日　～　平成 3年3月31日
村　田　　祥	平成 3年4月1日　～　平成 6年3月31日
佐　藤　　清	平成 6年4月1日　～　平成 8年3月31日
宮　森　誠　悦	平成 8年4月1日　～　平成10年3月31日
平　賀　　博	平成10年4月1日　～　平成12年3月31日
髙　橋　文　雄	平成12年4月1日　～　平成14年3月31日
大　木　直　義	平成14年4月1日　～　平成16年3月31日
堀　岡　正　康	平成16年4月1日　～　平成18年3月31日
髙　橋　敏　知	平成18年4月1日　～　平成19年3月31日
平　賀　敏　夫	平成19年4月1日　～　平成21年3月31日
伊　藤　勝　男	平成21年4月1日　～　平成22年3月31日
菊　池　定　雄	平成22年4月1日　～　平成24年3月31日
瀬　川　泰　正	平成24年4月1日　～　平成26年3月31日
石　崎　信　彦	平成26年4月1日　～　平成28年3月31日
照　井　博　美	平成28年4月1日　～　平成29年3月31日
小田島　　満	平成29年4月1日　～　平成31年3月31日
笹　間　利　美	平成31年4月1日　～　令和 3年3月31日
岡　田　弘　康	令和 3年4月1日　～　令和 5年3月31日
八重樫　晴　彦	令和 5年4月1日　～　令和 7年3月31日
戸　来　達　也	令和 7年4月1日　～　現在に至る

消防署長

氏　　名	在　職　期　間
葛　尾　清　幸	昭和49年4月 1日　～　昭和55年6月 3日
菊　池　茂　夫	昭和55年6月16日　～　昭和63年3月31日
太　田　　昭	昭和63年4月 1日　～　平成 2年3月31日
佐　藤　清　六	平成 2年4月 1日　～　平成 5年3月31日
白　藤　敬　造	平成 5年4月 1日　～　平成 8年3月31日

伊　藤　清　蔵	平成　８年４月　１日	～	平成 11 年３月 31 日
久保田　芳　男	平成 11 年４月１日	～	平成 12 年３月 31 日
古　川　　浩	平成 12 年４月１日	～	平成 13 年３月 31 日
高　橋　　功	平成 13 年４月１日	～	平成 14 年３月 31 日
照　井　順　三	平成 14 年４月１日	～	平成 15 年３月 31 日
藤　井　直　美	平成 15 年４月１日	～	平成 16 年３月 31 日
伊　藤　勝　男	平成 16 年４月１日	～	平成 19 年３月 31 日
菊　池　定　雄	平成 19 年４月１日	～	平成 22 年３月 31 日
畠　山　　誠	平成 22 年４月１日	～	平成 23 年３月 31 日

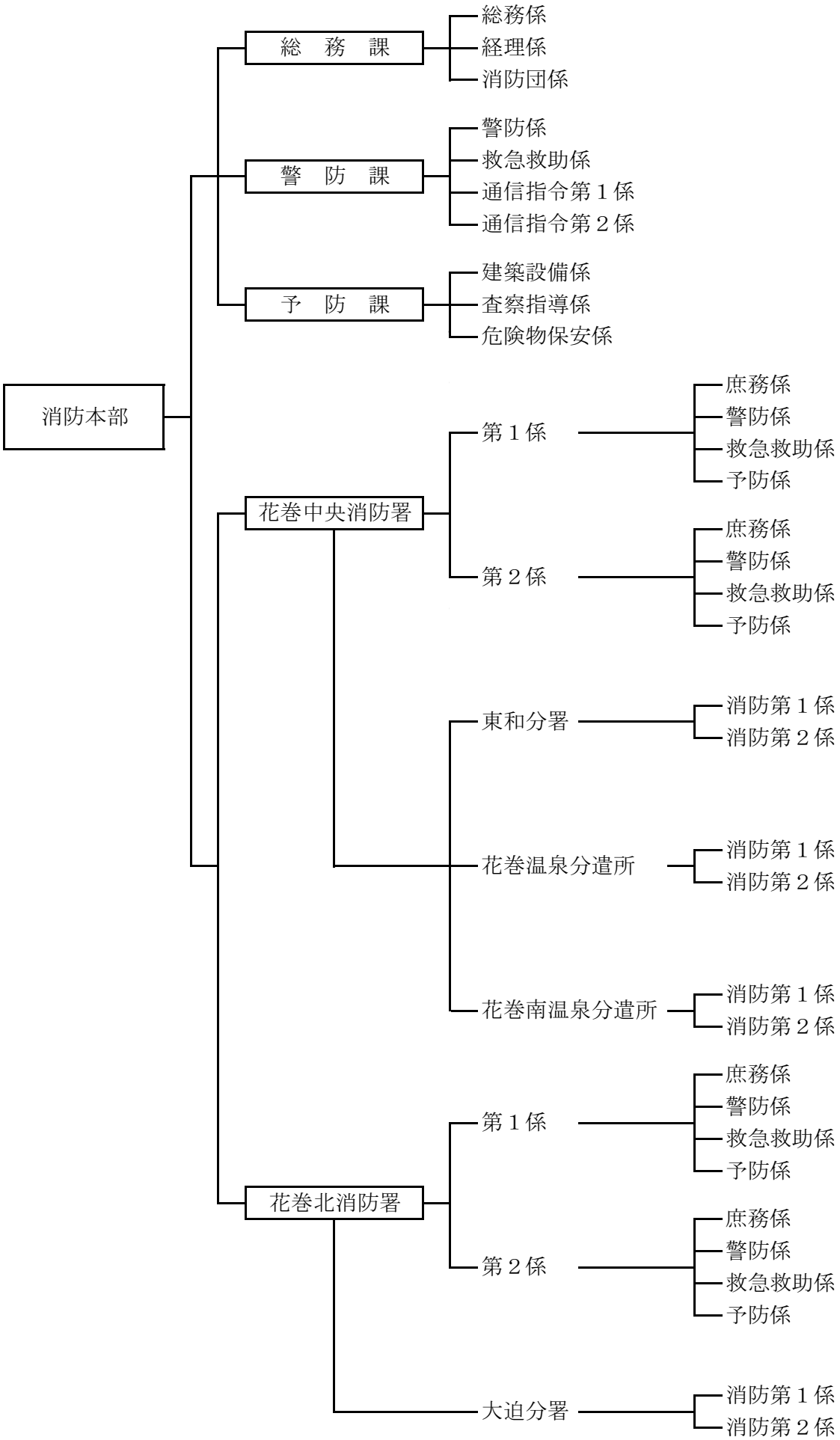
花巻中央消防署長

氏　　名	在　職　期　間		
畠　山　　誠	平成 23 年４月１日	～	平成 25 年３月 31 日
梅　木　富　雄	平成 25 年４月１日	～	平成 26 年３月 31 日
小　原　　司	平成 26 年４月１日	～	平成 28 年３月 31 日
戸　来　清　彦	平成 28 年４月１日	～	平成 31 年３月 31 日
照　井　博　幸	平成 31 年４月１日	～	令和　５年３月 31 日
小　原　卓　也	令和　５年４月１日	～	令和　７年３月 31 日
小　原　一　志	令和　７年４月１日	～	現在に至る

花巻北消防署長

氏　　名	在　職　期　間		
(兼)菊　池　定　雄	平成 23 年４月１日	～	平成 23 年４月 30 日
石　崎　信　彦	平成 23 年５月１日	～	平成 24 年３月 31 日
梅　木　富　雄	平成 24 年４月１日	～	平成 25 年３月 31 日
髙　橋　千代志	平成 25 年４月１日	～	平成 27 年３月 31 日
浅　沼　清　孝	平成 27 年４月１日	～	平成 28 年３月 31 日
田　井　正　一	平成 28 年４月１日	～	平成 29 年３月 31 日
多　田　成　樹	平成 29 年４月１日	～	平成 30 年３月 31 日
桐　田　守　朗	平成 30 年４月１日	～	令和　２年３月 31 日
藤　原　秀　孝	令和　２年４月１日	～	令和　５年３月 31 日
小　原　一　志	令和　５年４月１日	～	令和　７年３月 31 日
松　田　　真	令和　７年４月１日	～	現在に至る

１．花巻市消防本部の組織



２．花巻市消防本部事務分掌

- 消防本部
  - 総務課
    - 総務係
      1. 本部及び署所の事務の総合調整及び連絡に関すること
      2. 儀式、行事及び会議に関すること
      3. 公印の管理に関すること
      4. 文書の収受発送及び保管に関すること
      5. 条例、規則等の立案及び制定に関すること
      6. 人事、給与及び組織に関すること
      7. 職員の安全衛生及び福利厚生に関すること
      8. 表彰に関すること
      9. 職員の教養及び研修に関すること
      10. 消防職員委員会に関すること
      11. 消防広報に関すること
      12. 消防情報及び統計に関すること
      13. 情報セキュリティに関すること
      14. 臨時的任用職員及び会計年度任用職員の任用に関すること
      15. 消防庁舎等整備計画に関すること
      16. 職員の公務災害補償に関すること
      17. 消防相談に関すること
      18. 消防学校・消防大学校の入校に関すること
      19. 庁内ランネットワーク管理に関すること
      20. その他他課の所管に属さないこと
    - 経理係
      1. 予算の調整に関すること
      2. 職員の給貸与品に関すること
      3. 庁舎の維持管理に関すること
      4. 公有財産の管理に関すること
      5. 補助、起債申請事務に関すること
      6. 物品の出納保管に関すること
    - 消防団係
      1. 消防団の組織及び制度に関すること
      2. 消防団の予算に関すること
      3. 消防団員（以下「団員」という。）の任免、分限、懲戒及び表彰に関すること
      4. 団員の報酬及び費用弁償に関すること
      5. 団員の公務災害補償に関すること
      6. 団員の被服の貸与に関すること
      7. 団員の教養及び福利厚生に関すること
      8. 消防団の企画連絡調整に関すること
      9. 消防屯所等消防施設に関すること
      10. 婦人消防協力隊に関すること
      11. 消防演習等訓練に関すること
      12. 花巻市消防団組織等見直し委員会に関すること
  - 警防課
    - 警防係
      1. 消防計画の作成に関すること
      2. 消防隊の運用及び消防戦術の研究指導に関すること
      3. 消防訓練に関すること
      4. 消防相互応援協定に関すること
      5. 消防車両（消防団車両を含む。）及び資機材に関すること
      6. 緊急消防援助隊に関すること
      7. 火災警報に関すること
      8. 消防水利の設置及び管理に関すること
      9. 警防計画に関すること
      10. 消防機器の改善研究に関すること
      11. 消防機器の取扱い指導監督に関すること
      12. 消防機器等の統計に関すること
    - 救急救助係
      1. 救急救助業務計画に関すること
      2. 救急救助技術の研究及び指導に関すること
      3. 医療機関との連絡調整に関すること
      4. 応急手当の普及に関すること
      5. 救急救助統計に関すること
      6. メディカルコントロール体制に関すること
      7. 救助訓練に関すること

- 予防課
  - 通信指令係
    1. 火災、救急、救助、その他災害通報の受信及び出動指令に関すること
    2. 消防通信の統制及び運用に関すること
    3. 関係機関等への災害通報及び連絡に関すること
    4. 災害情報の収集及び伝達に関すること
    5. 消防通信施設の維持管理及び研究に関すること
    6. 消防通信システムの研究改善に関すること
    7. 気象予警報の情報収集及び連絡に関すること
    8. その他消防通信に関すること
  - 建築設備係
    1. 消防用設備等の設置指導に関すること
    2. 建築確認の同意に関すること
    3. 防火対象物定期点検報告制度に関すること
  - 査察指導係
    1. 防火思想の指導に関すること
    2. 立入査察に関すること
    3. 防火管理者及び自衛消防の指導に関すること
    4. 火災の原因及び損害等の調査並びに当該事由によるり災証明の交付に関すること
    5. 火災報告及び火災統計に関すること
    6. 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び婦人防火クラブ等団体の育成指導に関すること
  - 危険物保安係
    1. 危険物の規制に関すること
    2. 火薬類取締法に関すること
    3. 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に関すること
    4. 高圧ガス保安法に関すること
    5. 武器等製造法に関すること
    6. ガス事業法に関すること
    7. 電気用品安全法に関すること
    8. 電気工事業の業務の適正化に関する法律に関すること
- 消防署
  - 庶務係
    1. 署内事務の連絡調整に関すること
    2. 公印の管理に関すること
    3. 文書の収受発送及び保管に関すること
    4. 署員の勤務及び服務に関すること
    5. 署員の非常招集に関すること
    6. 物品の出納保管に関すること
    7. 署員の交通安全及び車両運転技能に関すること
    8. 統計に関すること
    9. 消防庁舎等の維持管理に関すること
    10. 消防団との連絡調整に関すること
    11. 他の係の所管に属さない事項に関すること
  - 警防係
    1. 水火災の警防計画及び現場活動に関すること
    2. 消防訓練及び演習に関すること
    3. 地水利の調査保全に関すること
    4. 災害現場指揮に関すること
    5. ポンプ車両等の運行及び装備品の管理に関すること
    6. 消防計画に関すること
    7. 消防フェスティバル等企画調整に関すること
  - 予防係
    1. 火災予防の広報に関すること
    2. 予防査察及び防火管理者の指導に関すること
    3. 違反処理規程に基づく事務処理に関すること
    4. 火災予防条例等に基づく事務処理に関すること
    5. 火災の原因及び損害の調査に関すること
    6. 消防用設備等の設置指導に関すること
    7. 危険物の規制に関すること
    8. 防火対象物等管理システムデータ入力に関すること

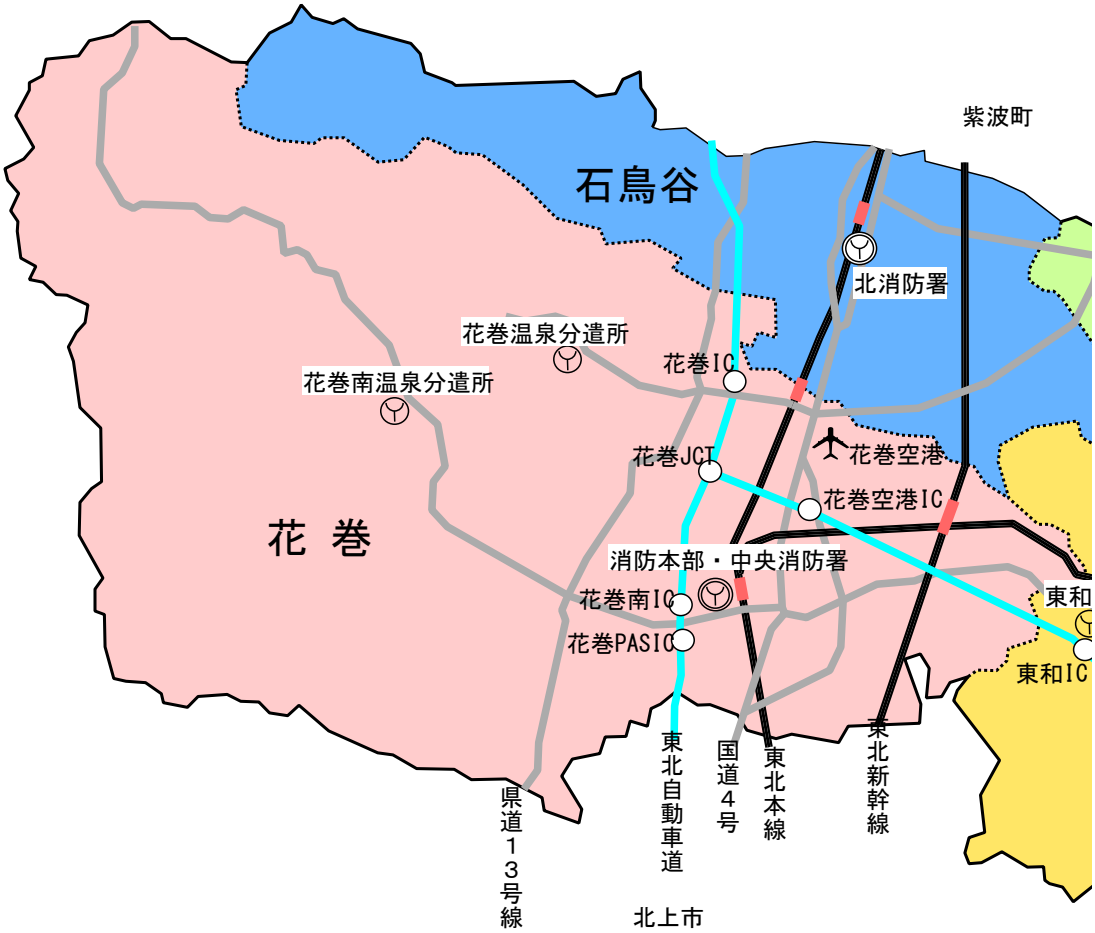
救急救助係

1　救急及び救助活動に関すること
2　救急救助対策並びに訓練及び演習に関すること
3　救急救助車両の運行及び資機材の管理に関すること
4　救急、救助の統計及び即報等に関すること

3. 管内の現況

	署所別	人口（人）	世帯数（世帯）	面積（km²）	人口密度（人/km²）
花巻	消防本部				
	中央消防署	64,905	28,939	385.4	168.41
	中央消防署花巻温泉分遣所				
	中央消防署花巻南温泉分遣所				
	中央消防署東和分署	7,299	2,954	157.5	46.34
	北消防署	12,846	5,327	118.6	108.34
	北消防署大迫分署	4,135	1,761	246.8	16.75
合計（平均）		89,185	38,981	908.3	98.19

4. 消防本部、署所の位置及び管轄区域



（令和７年４月１日現在）

消防吏員数（人）	消防吏員一人当たり		消防ポンプ自動車台数	消防ポンプ自動車１台当たり			救急自動車台数 ()内は予備車
	人口（人）	世帯数		人口（人）	世帯数	面積（km^2）	
31							(1)
58	1,119	499	4	16,226	7,235	96.35	4
17	429	174	1	7,299	2,954	157.51	1
21	612	254	1	12,846	5,327	118.57	1
17	243	104	1	4,135	1,761	246.84	1
144	(619)	(271)	7	(12,741)	(5,569)	(129.76)	7

５．消防予算当初（令和６年、令和７年度）

（単位：千円）

		令和６年度	令和７年度
花巻市総予算額（A）		55,153,324	58,178,625
花巻市消防予算額（B）		2,124,667	2,594,990
比率　Ｂ／Ａ（%）		3.9%	4.5%
消防予算額の内訳	常備消防費 常備消防施設費	1,738,699	2,234,047
	非常備消防費 非常備消防施設費	385,665	351,740
	水防費	300	200
	災害対策費	3	3

（単位：円）

花巻市消防予算額の換算	人口１人当たり	23,485	29,097
	１世帯当たり	54,696	66,571
常備消防費、常備消防施設費の換算	消防吏員 １ 人当たり	11,991,027	15,514,215

６．　消防庁舎の概要

（令和７年４月１日現在）

区分	所在地	敷地面積	建築延面積	構造	建築年月日
消防本部 中央消防署	花巻市材木町12番6号	3,853.17㎡	2027.92㎡	鉄筋コンクリート造、地下１階地上３階、訓練塔地上７階建	S53.5.31
車庫及び空気ボンベ充填室	〃		205.20㎡	鉄骨造平屋建	H23.3.24
倉庫	〃		33.74㎡	鉄骨造	H23.3.24
水防倉庫	〃		13.98㎡	軽量鉄骨造	H26.1.23
物置	〃		5.48㎡	軽量鉄骨造	H26.1.23
少量危険物保管庫	〃		3.35㎡	軽量鉄骨造	H26.1.23
自家発電置場	〃		5.22㎡	鉄骨造	H16.3
花巻市消防本部資機材庫	花巻市南万丁目970番地10	251㎡	84㎡	鉄骨造平屋建	H 7.3
中央消防署 花巻温泉分遣所	花巻市台第5地割21番地1	1,298㎡	269.06㎡	鉄骨一部木造平屋建	H21.3.14
自家発電置場	〃		2.64㎡	鉄骨造	H16.3
中央消防署 花巻南温泉分遣所	花巻市湯口字大沢187番地2	711㎡	237.36㎡	鉄骨一部木造	H2.10.22
自家発電置場	〃		2.64㎡	鉄骨造	H16.3
花巻中央消防署 東和分署	花巻市東和町安俵6区115番地	738㎡	346㎡	鉄骨造平屋建	S61.11.30
救急室兼車庫	〃		71.82㎡	鉄骨造平屋建	R3.12.9
自家発電置場	〃		2.64㎡	鉄骨造	H16.3
北消防署	花巻市石鳥谷町八幡第4地割100番地1	4,127㎡	984.42㎡	鉄骨造２階建	H23.4.27
主訓練塔	〃		175㎡	鉄骨造５階建	H23.4.27
倉庫（補助訓練塔）	〃		60㎡	鉄骨造平屋建	H23.4.27
自家発電置場	〃		2.64㎡	鉄骨造	H23.4.27
北消防署 大迫分署	花巻市大迫町大迫第13地割22番地1	893㎡	436.29㎡	鉄骨造一部2階建て	H24.3.25
自家発電置場	〃		2.64㎡	鉄骨造	H24.3.25

７．職員の階級別配置状況

（令和７年４月１日現在）

署所別 ＼ 階級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	うち女性	消防副士長	うち女性	消防士	うち女性	人数	うち女性
消防本部	消防長、次長	1	1									2	
	総務課		1	3	3							7	
	警防課			6	2	1		3				12	
	予防課		1	2		1	1					4	1
	※派遣				2					4	1	6	1
	小　計	1	3	11	7	2	1	3	0	4	1	31	2
花巻中央消防署	本　署		1	4	12	11	2	5	1	9		42	3
	花巻温泉分遣所				3	1		4				8	
	花巻南温泉分遣所				3	1		4				8	
	東和分署			2	4	3		7		1		17	
	小　計		1	6	22	16	2	20	1	10	0	75	3
花巻北消防署	本　署		1	4	5	4		4	1	3	1	21	2
	大迫分署			2	4	5		3		3		17	
	小　計		1	6	9	9		7	1	6		38	2
合　計		1	5	23	38	27	3	30	2	20	1	144	7

※岩手県防災航空隊派遣１名

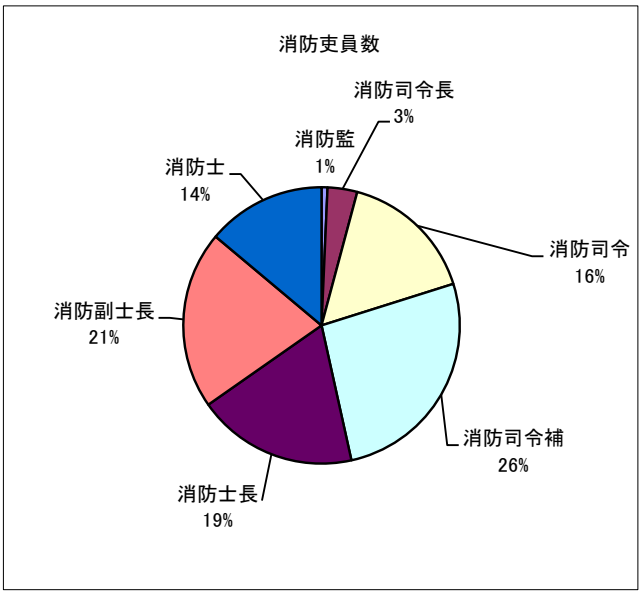
いわて消防通信指令事務協議会推進室派遣１名

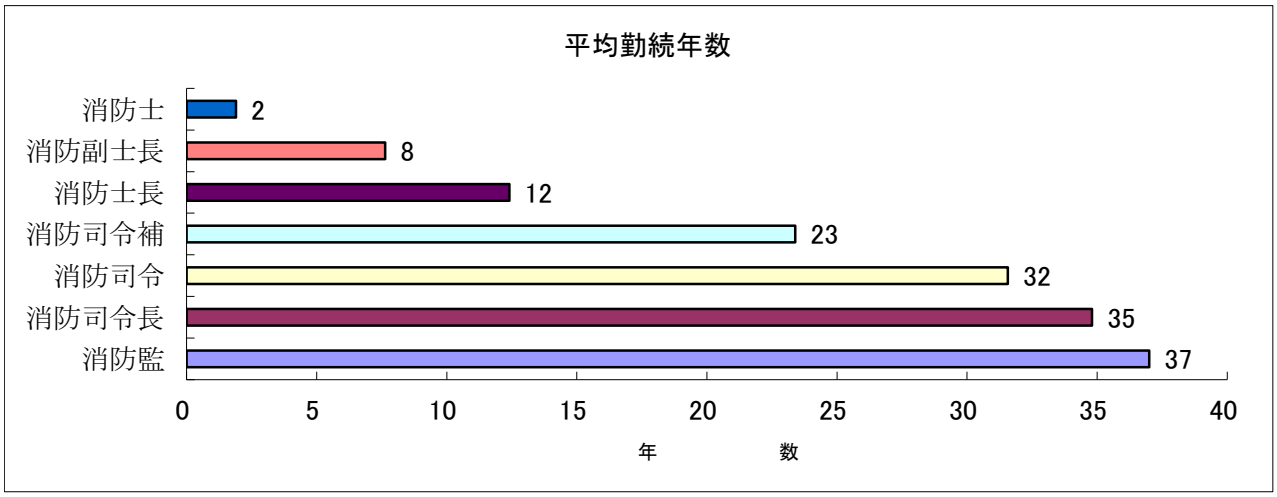
岩手県消防学校初任科教育課程派遣４名

８．職員の階級別平均年齢、平均勤続年数

（令和7年4月1日現在）

区分 / 階級	消防吏員数	平均年齢	平均勤続年数
消防監	1 名	55 歳	37 年
消防司令長	5 名	56 歳	35 年
消防司令	23 名	51 歳	32 年
消防司令補	38 名	44 歳	23 年
消防士長	27 名	34 歳	12 年
消防副士長	30 名	28 歳	8 年
消防士	20 名	22 歳	2 年
合計	144 名	37 歳	17 年





９．職員の年齢別在職年数

（令和7年4月1日現在）

年齢 / 在職年数	年齢 18～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56以上	うち女性	合計
1年未満	3	2								1	5
1年	3	1									4
2年	2	1	1								4
3年		4	1							1	5
4年		1	4								5
5年		2									2
6年		3	2	1						1	6
7年		1	3								4
8年			4	3						1	7
9年			5							1	5
10年			1	2							3
11年			4	6							10
12年				1	2						3
13年				2						1	2
14年				2	2						4
15年				3	4						7
16年					4					1	4
17年				1	2						3
18年					1	2					3
19年						1					1
20年											
21年						2					2
22年					2	2	1				5
23年											
24年						1	2				3
25年						1	2				3
26年						2					2
27年						2	3				5
28年							3	1			4
29年							8	1			9
30年							1	3			4
31年							3	1			4
32年							7				7
33年											
34年								1	1		2
35年								2	1		3
36年											
37年								1	1		2
38年											
39年									1		1
40年											
41年											
42年									1		1
合計	8	15	25	21	17	13	30	10	5	7	144
うち女性	1	1	2	2	1					7	

10. 職員の階級別在職年数

（令和7年4月1日現在）

在職年数＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	うち女性	合計
1年未満							5	1	5
1年							4		4
2年						1	3		4
3年							5	1	5
4年						3	2		5
5年						1	1		2
6年						6		1	6
7年						4			4
8年					3	4		1	7
9年						5		1	5
10年					2	1			3
11年					6	4			10
12年					3				3
13年					2			1	2
14年					4				4
15年				1	5	1			7
16年				2	2			1	4
17年				3					3
18年				3					3
19年				1					1
20年									
21年				2					2
22年				5					5
23年									
24年				3					3
25年				3					3
26年				2					2
27年			1	4					5
28年			2	2					4
29年		1	1	7					9
30年			4						4
31年			4						4
32年			7						7
33年									
34年		1	1						2
35年		1	2						3
36年									
37年	1	1							2
38年									
39年		1							1
40年以上			1						1
合計	1	5	23	38	27	30	20	7	144
うち女性					3	2	2	7	

11．職員の階級別年齢状況

（令和7年4月1日現在）

年齢＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	うち女性	合計
18歳							1		1
19歳							2		2
20歳							5	1	5
21歳							4		4
22歳							1		1
23歳							2		2
24歳						3	2	1	5
25歳						2	1		3
26歳						3	1		4
27歳						2	1	1	3
28歳						4			4
29歳						8		1	8
30歳					1	5			6
31歳					5	2		1	7
32歳					1				1
33歳					5	1		1	6
34歳					3				3
35歳				1	3				4
36歳					1				1
37歳					7				7
38歳				3	1			1	4
39歳				1					1
40歳				4					4
41歳				2					2
42歳				2					2
43歳				3					3
44歳				3					3
45歳				3					3
46歳				2					2
47歳				8					8
48歳			1	1					2
49歳			2	5					7
50歳			11						11
51歳			3						3
52歳			2						2
53歳		1	1						2
54歳		1							1
55歳	1		1						2
56歳		1							1
57歳		1							1
58歳									
59歳		1	1						2
60歳以上			1						1
合計	1	5	23	38	27	30	20	7	144
うち女性					3	2	2	7	

12. 職員の免許、資格等取得状況

（令和７年４月１日現在）

免許等の区分 ＼ 階級別			消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
運転免許・整備関係	大型自動車	第１種	1	4	21	36	25	20	1	108
		第２種								
	大型特殊自動車	第１種				4		1		5
		第２種								
	中型自動車	第１種				1				1
	中型自動車（８ｔ限定）	第１種		1	2	5	3			11
		第２種								
	普通自動車	第１種	1	5	23	38	27	30	16	140
	自動二輪車	普通		2	5	7	4	7	1	26
		大型	1		2	2		1	1	7
	自動車整備士	３級								
救急救助関係	救急救命士		1	3	6	15	14	4	2	45
	（認定薬剤）		1	2	6	15	12	3	1	(40)
	（認定挿管）		1	3	6	15	12	3		(40)
	ＪＰＴＥＣ		1	4	11	14	5	2		37
	ＢＬＳ		1	3	3	3				10
	ＡＣＬＳ				1					1
	ＩＴＬＳ									
	ＩＣＬＳ									
	テクニカルロープレスキュー		1	2	8	12	2			25
	スイフトウォーターレスキュー				5	4	8	1		18
	玉掛技能		1	2	6	19	15	8		51
	移動式クレーン		1	2	6	18	15	8		50
	小型船舶操縦士		1		8	13	10	1		33
	潜水士				1	2	1			4
	ガス溶接技能				1	1	1			3
	アーク溶接技能				1	1	1			3
通信関係	第３級総合無線通信士									
	第１級陸上特殊無線技士				3	2	1			6
	第２級陸上特殊無線技士		1	4	16	3		1		25
	第３級陸上特殊無線技士			1	5	26	27	30	12	101
	第３級アマチュア無線技士									
	第４級アマチュア無線技士			1	6					7
予防関係	危険物取扱者	乙類		1	8	9	15	7	4	44
		丙種		1	4	3				8
	毒物・劇物取扱者			1	2	1	1	1		6
	消防設備士	甲種				2	1			3
		乙種			4	3	4			11
	予防技術者	査察			2	6	11	8	1	28
		設備		1	4	5	5	3		18
		危険物		1	3	8	5	3		20
	消防設備点検資格者２種									
	防火対象物点検資格者				1					1
	電気工事士				1		1		1	3
その他	衛生管理者				2	3				5
	高圧ガス製造保安取扱者									
	１６ミリ映写機取扱者			1	4	5	1			11
	酸素欠乏危険作業主任者					2	2			4
	ボイラー技士				1					1
	公害防止管理者									
	防災士		1		1	1				3
	特定化学物質等作業主任者			1	2					3

13. 職員の教養訓練の状況

（令和６年度中）

区分		階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
学校教養	消防大学校	警防科				1				1
		火災調査科				1				1
		危険物科								－
		予防科								－
		救助科								－
		救急科								－
		上級幹部科								－
		幹部研修科								－
		幹部科				1				1
		新任教育								－
		航空隊コース								－
	県消防学校	初任教育							4	4
		初級・中級幹部科				1				1
		上級幹部科			2					2
		警防科								－
		救助科						3		3
		予防総合科						2		2
		火災調査科					2			2
		救急科（標準・Ⅱ含む）							5	5
		土砂災害科								－
		特別女性活躍								－
特別教養	救命士養成教育							2		2
	（救急救命東京研修所）							2		2
	（東京消防庁消防学校）									0
	（大阪府大阪市消防学校）									0
合計				0	2	4	2	9	9	26

14. 職員表彰の状況

（令和６年度中）

区分	階級別		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計			36			17	8	8		
消防庁長官	功労章									
	永年勤続功労章				1					
	救急功労者表彰		1		1					
岩手県知事	功労章									
	功績章		4			4				
市長	勤続功労者表彰	３０年	5			3	2			
	功績者表彰	２５年	3				3			
	精練表彰	２０年								
	功労者表彰	功労								
全国消防長会	永年勤続表彰	３０年	5			3	2			
全国消防長会東北支部	永年勤続表彰	２０年								
全国消防協会	全国優良消防職員表彰									
日本消防協会	精績章									
	勤続章		5			5				
岩手県消防協会	功労章									
	功績章		2			2				
岩手県消防協会花巻地区支部	功労章		1		1					
	功績章									
	精練章		3				1	2		
	勤続章		7					6	1	

15．令和６年度中の主要行事

年　月　日	行　　事　　内　　容
令和６年６月５日	早池峰山遭難救急救助訓練
６月27日	消防救助技術岩手県大会 ※7月27日開催予定であった東北地区支部消防救助技術指導会は、7月25日からの大雨により秋田、山形をはじめとする各地において被害が発生したことを受け中止となったもの。
９月12日	救急の日・救急医療週間関連行事
10月20日	花巻市消防団総合訓練 ※10月27日に花巻市消防演習を実施予定であったが、国政選挙の投票日と重なったことから消防演習を中止とし、その代替として演習リハーサルを実施予定であった10月20日に総合訓練を実施したもの。
11月10日	秋季火災予防週間関連行事
令和７年１月12日	花巻市消防出初式
１月26日	文化財防火デー関連行事
２月７日	岩手県消防職員意見発表会（場所:アートホテル盛岡）
３月１日～７日	春季火災予防運動関連行事